

農業復興イノベーション人材育成のための脱炭素次世代農業教育研究プログラムの実践

東京農工大学大学院農学府・農学部

令和4年度研究活動報告会

日時：令和4年12月17日(土)13時30分～16時
富岡町学びの森会議室
参加費無料

本事業では、福島県浜通りの営農再開地域にある富岡町と連携し、東京農工大学が有する「復興知」を活用し、福島県浜通りの営農再開において、食用米、酒米品種、耕畜連携が期待できる飼料イネ品種などの科学的な知を活用し、脱炭素型の先進的な有機、特別栽培など次世代の農業イノベーションに関わる研究、教育プログラム、人材育成を推進するため、2018年7月より富岡町の拠点を中心に研究活動を行っています。食用米、酒米品種、耕畜連携が期待できる飼料イネ品種などの科学的な知を活用しICTなどを取り入れたスマート有機農業などの推進による脱炭素型の作物生産技術を開発し、農業復興、農業振興を支援し、農業収入の安定化と所得の拡大、技術開発・普及等人材育成を目的としています。

富岡町において、本年度の研究活動報告会を企画いたしました。お誘い合わせの上、ご参加くださいますようお願いいたします。



プログラム

13:30-13:40 開会挨拶

事業説明

東京農工大学大学院農学府 大川泰一郎

1. 農業復興のための脱炭素次世代スマート農業イノベーションに関する実践研究プログラム

(1) 土壌肥沃度の改善技術の開発

13:40-13:55 ドローンの空撮画像と機械学習を用いたイネ品種の予測収量マッピング

高村大河・山口友亮・大川泰一郎・桂圭佑

13:55-14:10 福島県富岡町の除染後の農家圃場における水稻栽培が土壌全炭素量に及ぼす影響

山口友亮・小平正和・山下恵・高村大河・安達俊輔・大川泰一郎・桂圭佑

(2) 化学肥料に替わるバイオマス由来有機肥料、微生物バイオ肥料の開発

14:10-14:25 バイオ肥料を噴霧したイネ種子の直播栽培試験について

安掛真一郎・丹羽大地

(3) 次世代スマート農業に適したイネ品種の改良

14:25-14:40 化学肥料削減条件における生育の品種多様性と優良品種の特徴

花田龍星・安達俊輔・桂圭佑・大川泰一郎

14:40-14:55 水稻の有機栽培における深水抵抗性関連形質の遺伝的多様性および優良遺伝子の探索

磐佐まりな・安達俊輔・大川泰一郎

(4) 通い農業における省力化のためのスマート農業、新規ブランド作物の導入

14:55-15:10 新規ブランド作物のIoT点滴灌漑による栽培法の確立

川島健太郎・安達俊輔・桂圭佑・大川泰一郎

休憩 15:10-15:20

(5) 農業復興、営農再開における後継者問題

15:20-15:35 富岡町における営農再開の担い手像

岩崎聡史・新井祥穂

2. 営農再開地域における脱炭素次世代農業イノベーションの実践教育国際プログラム

15:35-15:45

(1) 今年度の大学院教育、学部教育における実践的な教育プログラム「アクティブリサーチ」報告

(2) 今年度の大学院、学部教育における学外実習、学外演習報告

15:45-16:00 総合討論

閉会挨拶